

2014年1/25



乱取りで組み手争いをする日韓の生徒たち

# 日韓の中学生柔道部員ら

## 国境越え友情深める

で習  
中練  
津同  
江合

韓国・釜山<sup>プサン</sup>市の中学柔道部員ら20人を招いた合同練習が24日、江津市江津町の江津中学校であり、武道を志す仲間同士が技を掛け合い、国境を越えて友情を深めた。

釜山の中学選抜チームを連れて釜山市を訪れているのが縁で実施しており、今回が3回目。日本側からは江津、浜田両市の中学柔道部員ら20人が参加した。

や、立ち技の乱取りを実施。激しい組み手争いから、背負い投げや大外刈りなどを繰り返して力をぶつけ合い、対戦が終わると礼をし、互いの健闘をたたえた。

合同練習は、同校の浜岡繁人校長が毎年、生徒たちはペアになり、得意技の打ち込み

江津中柔道部主将の盆子原天斗君(14)は2

年間は「活気ある練習ができた。韓国の皆さんは体が大きく、練習熱心だった」と振り返り、浜岡校長は「生徒たちは打ち解け合っていた。柔道を通じた交流をこれからも続けたい」と話した。

韓国の中学生らは27日まで滞在し、26日に浜田市三隅町で開かれる柔道大会に出場する。